

昭和十三年五月四日勅令第三百十七號ハ南洋群島ニ於ケル國家總動員ニ關スル件ナリ

生活必需物資指定規則 (昭和十六年四月一日 閣令第五號)

生活必需物資指定規則左ノ通定ム

生活必需物資指定規則

生活必需物資統制令第二條ノ規定ニ依リ同令ヲ適用ス

ベキ生活必需物資ノ種類ヲ定ムルコト左ノ如シ

一 農林大臣ノ定ムル鮮魚介類

二 厚生大臣ノ定ムル醫藥品及衛生材料

附 則

本令ハ生活必需物資統制令施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

農地開發法 一部施行期日並農地開發

法施行令の公布

農地開發法の公布については既に本誌前號本欄所載の如くであるが、その後昭和十六年四月二十六日付官報を以て公布を見た同法の一部施行期日並に同法施行令を掲ぐれば次の如くである。

農地開發法ノ一部施行期日

(昭和十六年四月二十四日 勅令第四百九十四號)

農地開發法第一條乃至第四十三條及第六十二條乃至第七十七條ノ規定ハ昭和十六年五月一日ヨリ之ヲ施行ス

農地開發法施行令 (昭和十六年四月二十四日 勅令第四百九十五號)

第一章 農地造成改良助成金

第一條 農地開發法第二條ノ規定ニ依ル助成金ハ左ニ

- 一 農業水利施設ノ新設、廢止又ハ變更(開墾、埋立)若ハ干拓又ハ地目變換ニ依ル開田ニ伴フモノヲ除ク)
- 二 暗渠排水、床締又ハ客土

第二條 助成金ノ額ハ命令ノ定ムル所ニ依リ事業ニ要スル費用ノ十分ノ五以内トス

第三條 農林大臣ハ助成金ノ交付ヲ受クル者ニ對シ助成金交付ノ事業又ハ之ニ因リテ生ジタル施設ニ關シ報告ヲ徴シ、當該官吏ヲシテ書類帳簿其ノ他ノ物件若ハ工事ヲ檢査セシメ又ハ監督上必要ナル命令ヲ發シ若ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第四條 農地開發法第三條第一項ノ規定ニ依リ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ農林大臣ハ助成金ノ交付ヲ受クル者ニ對シ助成金ノ交付ヲ停止若ハ廢止シ又ハ助成金ノ全部若ハ一部ノ返還ヲ命ズルコトヲ得

一 本令ニ基キテ發スル命令又ハ本令若ハ本令ニ基キテ發スル命令ニ依リテ爲シタル處分ニ違反シタルトキ

二 事業ノ全部又ハ一部ノ停止又ハ廢止アリタルトキ

三 助成金交付ノ事業ニ因リテ生ジタル工作物其ノ他ノ施設ヲ農業上ニ利用セザルニ至リタルトキ

四 助成金交付ノ條件ニ違反シタルトキ

五 不正ノ手段ヲ以テ助成金ノ交付ヲ受ケタルトキ

第二章 農地開發營團

第一節 出資證券

第五條 農地開發營團ノ出資證券ニハ左ノ事項及番號

ヲ記載シ理事長之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

一 農地開發營團ノ名稱

二 農地開發營團成立ノ年月日

三 資本金額

四 出資一口ノ金額

五 出資一口ニ付拂込ミタル金額

第二回以後ノ出資拂込ヲ爲サシメタルトキハ拂込アル毎ニ其ノ金額ヲ出資證券ニ記載スルコトヲ要ス

第六條 出資證券ハ記名式トス

第七條 出資者ノ持分ノ移轉ハ取得者ノ氏名及住所ヲ出資者原簿ニ記載シ且其ノ氏名ヲ出資證券ニ記載スルニ非ザレバ之ヲ以テ農地開發營團其ノ他ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第八條 農地開發營團ハ出資者原簿ヲ主タル事務所ニ備置クコトヲ要ス

前項ノ原簿ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 出資者ノ氏名及住所

二 各出資者ノ出資口數及出資證券ノ番號

三 出資各口ニ付拂込ミタル金額及拂込ノ年月日

四 各出資證券ノ取得ノ年月日

農地開發營團ノ出資者及債權者ハ業務時間内何時ニテモ出資者原簿ノ閲覧ヲ求ムルコトヲ得

第九條 出資者ニ對スル通知又ハ催告ハ出資者原簿ニ記載シタル其ノ者ノ住所ニ、其ノ者ガ別ニ其ノ住所ヲ農地開發營團ニ通知シタルトキハ其ノ住所ニ宛ツルヲ以テ足ル

前項ノ通知又ハ催告ハ通常其ノ到達スベカリシ時ニ到達シタルモノト看做ス

前二項ノ規定ハ出資申込人、出資引受人又ハ従前ノ

出資者ニ對スル通知及催告ニ之ヲ準用ス

第二節 農地開發債券

第十條 農地開發債券ノ募集ニ應ゼントスル者ハ農地開發債券申込證二通ニ其ノ引受クベキ農地開發債券ノ數及住所ヲ記載シ之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

農地開發債券申込證ハ理事長之ヲ作成シ之ニ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 農地開發營團ノ名稱

二 農地開發債券ノ總額

三 各農地開發債券ノ金額

四 農地開發債券ノ利率

五 農地開發債券償還ノ方法及期限

六 利息支拂ノ方法及期限

七 農地開發債券發行ノ價額又ハ其ノ最低價額

八 農地開發營團ノ資本金額及拂込資本金額

九 舊農地開發債券借換ノ爲農地開發法第二十四條ノ制限ニ依ラズ農地開發債券ヲ發行スルトキハ其ノ旨

十 前ニ農地開發債券ヲ發行シタルトキハ其ノ償還ヲ了ヘザル總額

農地開發債券發行ノ最低價額ヲ定メタル場合ニ於テハ應募者ハ農地開發債券申込證ニ應募價額ヲ記載スルコトヲ要ス

第十一條 前條ノ規定ハ契約ニ依リ農地開發債券ノ總額ヲ引受クル場合ニハ之ヲ適用セズ農地開發債券募集ノ委託ヲ受ケタル會社ガ自ラ農地開發債券ノ一部ヲ引受クル場合ニ於テ其ノ一部ニ付亦同ジ

第十二條 農地開發債券ノ應募總額ガ農地開發債券申込證ニ記載シタル農地開發債券ノ總額ニ達セザルト

キト雖モ農地開發債券ヲ成立セシムル旨ヲ農地開發債券申込證ニ記載シタルトキハ其ノ應募總額ヲ以テ農地開發債券ノ總額トス

第十三條 農地開發債券ノ募集ガ完了シタルトキハ理事長ハ遲滞ナク各農地開發債券ニ付其ノ金額ノ拂込ヲ爲サシムルコトヲ要ス

第十四條 農地開發債券募集ノ委託ヲ受ケタル會社ハ自己ノ名ヲ以テ農地開發營團ノ爲ニ第十條第二項及前條ニ定ムル行爲ヲ爲スコトヲ得

農地開發債券募集ノ委託ヲ受ケタル會社ニ以上アルトキハ前項ノ行爲ハ共同シテ之ヲ爲スコトヲ要ス

第十五條 農地開發債券ハ金額ノ拂込アリタル後ニ非ザレバ之ガ證券ノ發行ヲ爲スコトヲ得ズ

第十六條 農地開發債券ニハ第十條第二項第一號乃至第六號ニ掲グル事項及證券番號ヲ記載シ理事長之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第十七條 農地開發營團ハ主タル事務所ニ農地開發債券原簿ヲ備置クコトヲ要ス

農地開發債券原簿ニハ左ノ事項ヲ記載スルコトヲ要ス

一 農地開發債券ノ數及番號
二 證券發行ノ年月日
三 第十條第二項第二號乃至第六號ニ掲グル事項農地開發債券ヲ記名式ト爲シタルトキハ前項ニ掲グル事項ノ外其ノ農地開發債券ノ所有者ノ氏名及住所並ニ取得ノ年月日ヲ農地開發債券原簿ニ記載スルコトヲ要ス

農地開發營團ノ出資者及債權者ハ業務時間内何時ニテモ農地開發債券原簿ノ閱覽ヲ求ムルコトヲ得

第十八條 記名式農地開發債券ノ移轉ハ取得者ノ氏名及住所ヲ農地開發債券原簿ニ記載シ且其ノ氏名ヲ證券ニ記載スルニ非ザレバ之ヲ以テ農地開發營團其ノ他ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

記名式農地開發債券ヲ以テ質權ノ目的ト爲シタルトキハ質權者ノ氏名及住所ヲ農地開發債券原簿ニ記載スルニ非ザレバ之ヲ以テ農地開發營團其ノ他ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第十九條 第九條第一項及第二項ノ規定ハ農地開發債券ノ應募者、權利者又ハ所有者ニ對スル通知及催告ニ之ヲ準用ス

無記名式農地開發債券ノ所有者ニ對スル通知又ハ催告ハ公告ノ方法ニ依ルコトヲ得

第二十條 無記名式農地開發債券ヲ償還スル場合ニ於テ欠缺セル利札アルトキハ之ニ相當スル金額ヲ償還額ヨリ控除ス但シ既ニ支拂期ノ到來シタル利札ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

前項ノ利札ノ所持人ハ何時ニテモ之ト引換ニ控除金額ノ支拂ヲ請求スルコトヲ得

第二十一條 農地開發營團ノ設立ノ登記ハ出資者ノ總會終結ノ日ヨリ二週間内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

第三節 登記

一 目的
二 名稱
三 事務所
四 資本金額
五 出資一口ノ金額
六 出資一口ニ付拂込ミタル金額

七 理事長、副理事長、理事及監事ノ氏名及住所
八 公告ノ方法

農地開發營團ハ設立ノ登記ヲ爲シタル後一週間内ニ
從タル事務所ノ所在地ニ於テ前項ニ掲グル事項ヲ登
記スルコトヲ要ス

第二十二條 農地開發營團ノ成立後從タル事務所ヲ設
ケタルトキハ主タル事務所ノ所在地ニ於テハ二週間
内ニ從タル事務所ヲ設ケタルコトヲ登記シ其ノ從タ
ル事務所ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ前條第二項ニ
掲グル事項ヲ登記シ他ノ從タル事務所ノ所在地ニ於
テハ同期間内ニ其ノ從タル事務所ヲ設ケタルコトヲ
登記スルコトヲ要ス

主タル事務所又ハ從タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル
登記所ノ管轄區域内ニ於テ新タニ從タル事務所ヲ設
ケタルトキハ其ノ從タル事務所ヲ設ケタルコトヲ登
記スルヲ以テ足ル

第二十三條 農地開發營團ガ主タル事務所ヲ移轉シタ
ルトキハ二週間内ニ移轉ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス
農地開發營團ガ從タル事務所ヲ移轉シタルトキハ舊
所在地ニ於テハ三週間内ニ移轉ノ登記ヲ爲シ新所在
地ニ於テハ四週間内ニ第二十一條第二項ニ掲グル事
項ヲ登記スルコトヲ要ス但シ同一ノ登記所ノ管轄區
域内ニ於テ從タル事務所ヲ移轉シタルトキハ其ノ移
轉ノ登記ヲ爲スヲ以テ足ル

第二十四條 第二十一條第二項ニ掲グル事項中ニ變更
ヲ生ジタルトキハ主タル事務所ノ所在地ニ於テハ二
週間、從タル事務所ノ所在地ニ於テハ三週間内ニ變
更ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス
第二十五條 農地開發債券ヲ發行シタル場合ニ於テ第

十三條ノ拂込アリタルトキハ主タル事務所ノ所在地
ニ於テハ二週間、從タル事務所ノ所在地ニ於テハ三
週間内ニ農地開發債券ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス
前項ノ登記ニハ第十條第二項第二號乃至第六號ニ掲
グル事項ヲ掲グルコトヲ要ス

前條ノ規定ハ第一項ノ登記ニ之ヲ準用ス
第二十六條 登記スベキ事項ニシテ農林大臣ノ認可ヲ
要スルモノハ其ノ認可書ノ到達シタル時ヨリ登記ノ
期間ヲ起算ス

第二十七條 登記シタル事項ハ裁判所ニ於テ遲滞ナク
之ヲ公告スルコトヲ要ス
第二十八條 農地開發營團ノ登記ニ付テハ其ノ事務所
所在地ノ區裁判所ヲ以テ管轄登記所トス

各登記所ニ農地開發營團登記簿ヲ備フ
第二十九條 設立ノ登記ヲ除クノ外本令ニ依ル登記ハ
理事長ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス
第三十條 設立登記ノ申請書ニハ定款、出資者ノ總會
ノ議事録、出資申込書其ノ他出資ノ引受ヲ證スル書
面、出資ノ第一回ノ拂込アリタルコトヲ證スル書面
並ニ理事長、副理事長、理事及監事ノ資格ヲ證スル
書面ヲ添付スルコトヲ要ス

事務所ノ新設又ハ事務所ノ移轉其ノ他第二十一條第
二項ニ掲グル事項ノ變更ノ登記ノ申請書ニハ事務所
ノ新設又ハ登記事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添付スル
コトヲ要ス

第三十一條 農地開發債券ノ登記ノ申請書ニハ農地開
發債券申込證其ノ他農地開發債券ノ引受ヲ證スル書
面及各農地開發債券ニ付第十三條ノ拂込アリタルコ
トヲ證スル書面ヲ添付スルコトヲ要ス

前條第二項ノ規定ハ農地開發債券ニ關スル登記事項
ノ變更ノ登記ニ之ヲ準用ス
第三十二條 非訟事件手續法第四百二十二條乃至第五百
十一條ノ六及第五百五十四條乃至第五百五十七條ノ規定
ハ本令ニ依ル登記ニ之ヲ準用ス

第四節 會計
第三十三條 農地開發法第三十六條第一項ノ準備金ハ
損失ノ填補ニ充ツル場合ニ限り農林大臣ノ認可ヲ得
テ之ヲ使用スルコトヲ得

第三十四條 農地開發營團ノ利益金ノ配當ハ拂込ミタ
ル出資金額ニ對シ年百分ノ六ヲ超ユルコトヲ得ズ
附 則
第三十五條 本令ハ昭和十六年五月一日ヨリ之ヲ施行
ス

第三十六條 農地開發營團ニ出資ノ申込ヲ爲サントス
ル者ハ出資申込書三通ニ其ノ引受クベキ口數及住所
ヲ記載シ之ニ記名捺印シ設立委員ニ提出スルコトヲ
要ス

前項ノ出資申込書ハ設立委員之ヲ作成シ之ニ左ノ事
項ヲ記載スベシ
一 農地開發營團ノ名稱
二 目的
三 定款認可ノ年月日
四 主タル事務所ノ所在地
五 資本金額
六 出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法
七 公告ノ方法

前二項ノ規定ハ政府ノ出資申込ニ付テハ之ヲ適用セ
ズ

第三十七條 出資ノ申込ニ對スル制當ニ付テハ設立委員ハ農林大臣ノ認可ヲ受クベシ

前項ノ認可申請書ニハ出資申込書ヲ添附スルコトヲ要ス

第三十八條 出資ノ引受ヲ爲シタル者ガ出資ノ第一回ノ拂込ヲ爲サザルトキハ設立委員ハ一定ノ期間内ニ其ノ拂込ヲ爲スベキ旨及其ノ期間内ニ之ヲ爲サザルトキハ其ノ權利ヲ失フベキ旨ヲ出資ノ引受ヲ爲シタル者ニ通知スルコトヲ得但シ其ノ期間ハ二週間ヲ下ルコトヲ得ズ

前項ノ通知アリタルニ拘ラズ出資ノ引受ヲ爲シタル者ガ其ノ期間内ニ拂込ヲ爲サザルトキハ其ノ權利ヲ失フ此ノ場合ニ於テハ設立委員ハ其ノ者ガ引受ケタル出資ニ付更ニ出資者ヲ募集スベシ

第三十九條 出資ノ第一回ノ拂込アリタルトキハ設立委員ハ遲滞ナク各出資者ノ出資口數、拂込ミタル金額及其ノ拂込ノ年月日ヲ記載シタル書面竝ニ之ニ關スル證書類ヲ提出シ農林大臣ノ検査ヲ受クベシ

第四十條 前條ノ検査終リタルトキハ設立委員ハ遲滞ナク出資者ノ總會ヲ召集シ農地開發營團ノ設立ニ關スル事項ヲ報告スベシ

第四十一條 總會ヲ召集スルニハ少クトモ一週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ各出資者ニ通知スルコトヲ要ス

第四十二條 總會終結シタルトキハ設立委員ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ農林大臣ニ届出ヅベシ

第四十三條 農地開發營團理事長設立委員ヨリ其ノ事務ノ引渡ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ農林大臣ニ届出ヅベシ

住宅營團法の公布並施行

昭和十六年四月七日より施行される、こととなつた住宅營團法及び住宅營團法施行令並に昭和十六年四月二十四日付官報所載の住宅營團定款を掲ぐれば以下の如くである。

住宅營團法施行期日 (昭和十六年四月四日) (勅令第三百九十九號)

住宅營團法ハ昭和十六年四月七日ヨリ之ヲ施行ス

住宅營團法 (昭和十六年三月七日) (法律第四十六號)

第一章 總則

第一條 住宅營團ハ勞務者其ノ他庶民ノ住宅ノ供給ヲ圖ルコトヲ目的トス

第二條 住宅營團ハ主タル事務所ヲ東京市ニ置ク
住宅營團ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ必要ノ地ニ從タル事務所ヲ設置スルコトヲ得

第三條 住宅營團ノ資本金ハ一億圓トス

第四條 政府ハ一億圓ヲ住宅營團ニ出資スベシ
政府ハ土地ヲ以テ出資ノ目的ト爲スコトヲ得

第五條 住宅營團ハ定款ヲ以テ左ノ事項ヲ規定スベシ

一 目的
二 名稱

三 事務所ノ所在地

四 資本金額及資産ニ關スル事項

五 役員及會議ニ關スル事項

六 業務及其ノ執行ニ關スル事項

七 住宅債券ノ發行ニ關スル事項

八 會計ニ關スル事項

九 公告ノ方法

十 定款變更ノ方法

定款ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ變更スルコトヲ得

第六條 住宅營團ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ登記ヲ爲スコトヲ要ス
前項ノ規定ニ依リ登記スベキ事項ハ登記ノ後ニ非ザレバ之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ズ

第七條 住宅營團ニハ所得稅、法人稅及營業稅ヲ課セズ

北海道、府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキモノハ住宅營團ノ事業、建物ノ建設若ハ取得又ハ土地ノ取得ニ對シテハ地方稅ヲ課スルコトヲ得ズ但シ住宅營團ノ事業ニ對シテハ特別ノ事情ニ基キ内務大臣及大藏大臣ノ認可ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第八條 住宅營團ニ付解散ヲ必要トスル事由發生シタル場合ニ於テ其ノ處置ニ關シテハ別ニ法律ヲ以テ之ヲ定ム

第九條 住宅營團ニ非ザル者ハ住宅營團ナル名稱ヲ用フルコトヲ得ズ

第十條 民法第四十四條、第五十條、第五十四條、第五十五條及第五十七條竝ニ非訟事件手續法第三十五條第一項ノ規定ハ住宅營團ニ之ヲ準用ス

第二章 役員

第十一條 住宅營團ニ理事長副理事長各一人、理事四人以上及監事二人以上ヲ置ク

理事長ハ住宅營團ヲ代表シ其ノ業務ヲ總理ス
副理事長ハ定款ノ定ムル所ニ依リ住宅營團ヲ代表シ
理事長ヲ輔佐シテ住宅營團ノ業務ヲ掌理ス